

I 地域包括ケアシステム構築を目指した在宅医療・介護連携体制の整備

事業の実施状況

- 1 日田市及び玖珠郡医師会が開催する在宅医療連携会議の運営支援
 (日田市 開催予定回数 9回 参加延数27人)
 (玖珠郡 開催予定回数 9回 参加延数27人)
 →日田市 開催回数 8回 参加延数34人
 玖珠郡 開催回数 7回 参加延数29人
 ・地域ケア会議の運営支援と助言(3市町)
 →日田市 開催回数 9回 参加延数16人
 九重町 開催回数 7回 参加延数9人
 玖珠町 開催回数 7回 参加延数9人
 ・入退院時情報提供票の活用促進に向けた検討会の開催(4回)
 →日田市 3回 玖珠郡 3回
- 2 玖珠郡2町間の調整会議の開催 (5回)
 →7回
- 3 住民への普及啓発における支援
 ・日田市・玖珠郡 パンフレットの作成、配布
 ・住民向けの講演会の開催 日田市・玖珠郡 (各1回)
 →日田市、九重町、玖珠町 各1回
- 4 関係職種に対する在宅医療・介護連携に関する研修会の開催
 * 保健所主催分
 (看護職種向け研修会 4回 介護職種向け研修会 1回
 多職種向け研修会 4回 訪問看護体験 15人)
 →看護 糖尿病研修会 104人、病院師長等研修 44人、
 1新人サポート 42人、がん研修会 62人
 介護:介護施設看護職員 2回(日田、玖珠) 計80人
 多職種:薬剤師ケアマネ意見交換会 42人、摂食嚥下障害研修会 200人、
 糖尿病研修会 39人、看護研究学会 170人
 訪看:2回 計16人
- 5 地域医療構想策定に向けた調整会議の開催 (2回)
 →4回(内訳は下記のとおり)
 医師会研修会 日田市2回 玖珠郡1回
 看護職向け研修会 1回
- 6 地域ケア会議の運営支援と助言(3市町)
 地域ケア会議への参加実績 日田市 15回、九重町 12回、玖珠町 12回

事業の成果等

- ・日田市・玖珠郡で開催された在宅医療連携会議全てに出席して運営支援を行い、日田市では、多職種連携のツールとして医療介護専用SNSが試行され、玖珠郡では在宅医療に関する研修会が積極的に開催されるとともに、入退院時情報共有ルールの改正が行われた。
 また、入退院時情報提供票の活用に向け、日田市、玖珠郡それぞれで看護職と介護支援専門員の意見交換会が実施され、意識の向上につながった。
 玖珠郡では、制度改正により、これまで県補助によって医師会が事業主体となっていた在宅医療連携会議が、来年度から各町が事業主体の介護保険事業となるが、2町間の調整会議により、継続して玖珠郡医師会に委託されることになり、この協議の中で会議の体制や方向性についても見直しを行うことができた。
- ・地域医療構想の調整会議では、大分県西部地域医療構想の素案が承認され、パブコメ等の手続きを経て平成28年6月頃策定予定となっている。
- ・地域ケア会議の運営支援
 地域ケア会議は、国、県等からの広域支援員派遣事業を受け、アドバイザーのスキルアップが図られた。また、地域課題が明確となり、地域支援事業への移行がスムーズに行われた。

今後の方向性・改善計画等

- ・来年度は、地域医療構想を進める上で必要な在宅医療の体制整備に向け、在宅医療連携会議で地域課題を協議できるように運営支援を行う。
- ・入退院時情報提供票の活用を促進するため、日田市と玖珠郡の看護職、介護支援専門員の合同研修会を実施する。
- ・地域ケア会議は、平成27年度から介護保険法に規定されており、市町が地域ケア会議を行うよう努めなければならないとなった。今後は、市町が主体的に開催できるよう定例でなく、特に、難病や精神疾患の困難事例を中心に必要時支援を行う。

II 健康危機管理の拠点としての機能の充実

事業の実施状況

- | | |
|---|---|
| <p>1 健康危機管理事案発生に備えた体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エボラ出血熱発生時のシミュレーション (1回) →所内訓練、消防との訓練 計2回 ・鳥インフルエンザ発生時のシミュレーション (県演習、西部地区演習、所内 各1回) →各1回 ・広域災害救急医療情報システム(EMIS)入力訓練(1回) →所内訓練、医療機関向け訓練 計2回 ・健康危機管理連絡会議の開催 (1回) →1回 | <p>2 食中毒・感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品による健康被害防止のためのHACCP手法を用いた工程管理指導 (指導施設数 10施設) → 12施設 ・消毒インストラクターの養成 (養成人数 25人) →養成人数36人 ・塗抹陽性患者DOTS実施率 (100%) → 100% |
|---|---|

事業の成果等

- ・ エボラ出血熱発生時の訓練では、消防との合同訓練をしたことで、職員のスキルアップと連携体制の確認につながった。広域災害救急医療情報システム入力訓練では、病院職員を対象に研修をしたことで、各病院の担当者が入力できるようになり、災害時対応の意識向上にもつながった。
- ・ 塗抹陽性患者が、薬剤耐性の獲得防止と治療完了を達成するために、患者のリスクに応じて必要回数訪問し、服薬の確認を行った。DOTSを100%実施できたため、治療中断者がいなかった。また、地域の医療機関や入所施設と連携することで、結核に関する知識の普及にも役だった。

今後の方向性・改善計画等

感染症対策として医療機関との連携を強化するため、保健所、医療機関合同の訓練を実施する。また、新型インフルエンザのアクションプランを作成し所内体制を整備する。消毒インストラクター養成研修会は日田市内の高齢者施設の職員を対象に実施する。

Ⅲ 豊かな水環境の創出

事業の実施状況

- | | |
|--|--|
| 1 流域会議の開催、ごみゼロ地域連絡会の開催（1回） →(1)流域会議の開催 2回 (2)ごみゼロおおいた地域連絡会議の開催 | 5 事業場排水監視計画に対する検査実施率実施率 100% →実施率100% |
| 2 流域会議参加団体数の増加（2団体以上の増加） →2団体加盟（玖珠ライオンズクラブ、九重ふるさと自然学校） | 6 合併浄化槽への転換の啓発（3回） →3回 |
| 3 住民による水生生物調査回数（11回） →9回（日田市7回、九重町1回、玖珠町1回） | 7 浄化槽設置（管理）者に対する啓発（3回） →3回 |
| 4 環境教育アドバイザーの派遣回数（8回） →5回 | 8 浄化槽法定検査未受検者への文書指導 （文書指導実施率 27年度対象者100%） →実施率100% |

事業の成果等

- ・流域会議の開催、ごみゼロ地域連絡会を開催し、各活動の連携体制の確認ができた。また、流域会議では、九重町、玖珠町の2団体が新たに加わり、筑後川上流域全体を網羅することとなった。
- ・住民による水生生物調査では長雨による影響で若干調査回数が減少したが事故もなく実施することができた。
- ・環境教育アドバイザーの派遣では実施回数は目標を達成できなかったが、多くの受講者（186人）に環境を守る大切さを普及することができた。
- ・事業場排水監視計画に基づく検査、合併処理浄化槽への転換啓発、設置者への啓発等については計画どおりに実施することができた。

今後の方向性・改善計画等

- ・地域活性化につながる環境保全活動の促進
地域活性化につながる環境保全活動を促進する「おおいたうつくし作戦」に取り組み、情報発信の場の提供、対象者に合った環境教育を進める。
- ・豊かな水環境の創出
流域の住民が親しみを感じることのできる豊かな水環境の創出に努める。また、浄化槽からの放流水質を改善し適正に保つための適切な保守点検や清掃、法定検査の受検について啓発を行う。